

実践事例

1 実践の概要

(1) 取り組みのねらい

児童生徒の日常の交友関係・言動・家庭生活の変化などの把握や情報収集に努め、いじめの未然防止と適切な指導に努める。

(2) 取り組みの内容

- ① いじめを早期発見するために
 - 児童とふれ合う機会の確保と充実に努める。
 - 児童や保護者との定期的な教育相談の機会を設定する。(家庭訪問、個別懇談、教育相談、学年・学級懇談会など)
 - いじめアンケート、Q-Uテストを実施する。
 - 養護教諭等との連携・協力を図る。(保健室が「心の居場所」としての役割を果たすことが多いという認識をもつ)
- ② いじめを解消するために
 - 迅速かつ正確に事実関係を究明し、いじめ対策委員会を招集する。場合によっては、いじめ緊急対策会議を開く。
 - 保護者との連携を図りながら、具体的に援助・指導するための組織を結成し、関係者全員で取り組む。
- ③ いじめを防ぐために
 - 校内研修の充実に努め、実効性のある指導体制をつくる。
 - ・ 事例研究やカウンセリング演習など実践的な研修を行い、全職員の共通理解、指導力の向上を図る。
 - ・ 教職員個々の役割を生かし、全校的な組織をあげて対応できる体制をつくる。
 - 児童が自己存在感を持つことができる学校運営及び学級経営に努める。
 - ・ すべての児童が自ら参加でき、分かりやすい授業を工夫する。
 - ・ 道徳・特別活動などを通して、人間としての在り方・生き方を考えさせ、自他の生命や人権を尊重する豊かな人間関係の育成を図る。
 - ・ 児童が自信を持って学校生活を送ることができ、「心の居場所」となり、役割を持って存在感を感じることでできる学校づくりに努める。
 - 児童と教師、児童同士の深い信頼関係を醸成する。
 - ・ いじめは絶対に許さず、その排除に全力を挙げるとともに、いじめられている児童を守り通す、毅然とした姿勢を示す。
 - ・ 正義感、人権の尊重、思いやりの心などを行き渡らせ、友情の尊さや心からの信頼の醸成について、適切に指導する。(道徳教育の充実・心のノートの活用)
 - 「開かれた学校」づくりに努める。
 - ・ いじめの関する情報を提供し、保護者等の理解・協力を求める。
 - ・ 地域の教育力を生かし、支援を受ける。
 - ・ 関係機関との連携を図り、学校の役割と相談機関等の機能を再考する。

2 実践の成果

いじめの意識調査の結果は、前回と比較して、全体で 13.4 ポイント上昇している。特にいじめという認識が低かった「あだ名」や「からかい」、「野次・文句」などについては 17~26 ポイント、「見て見ぬふりをする」については 18 ポイント上昇している。この結果から、今までの実践(上「1-(2) 取り組みの内容」)により、子どもたちのいじめに対する意識を高めることができたと言える。

いじめの経験に関する調査においても、見たり聞いたりした経験、自分がされた経験、自分がした経験、全てにおいて経験値が下がっている。特に、前回「いじめ」事例の対称となった児童は、現在、学級集団の中で元気に生活している。これも、事実関係を正確に把握した上で学級担任・学年担当を軸に、いじめ対策委員会で具体的な指導・援助の方針を検討し、組織的・継続的にいじめの解消にあたった成果と言える。

いじめは悪いことだという意識が高まり、日常生活の中で目にする「いじめ」が少なくなってきたことで、本校の目指す児童像「輝き学び合う子ども」を目指す環境が、さらに整ってきたと言っているのではないだろうか。

3 取り組みの評価

本校では、年度初めに、生徒指導・特別支援全体協議会を開き、「問題傾向を持つ児童」と「身体的な理由で配慮が必要な児童」について把握し、具体的な支援方針について共通理解を図る機会を設けている。

いじめアンケート実施の際は、学級ごとに集計するだけでなく、必要に応じて個別に教育相談を行い、問題の詳細を把握する。アンケートの集計結果は、全体で傾向を分析し、教師が介入し指導・支援が必要と思われる事例について方針を話し合う。また、アンケートの結果をもとに、学級活動や道徳の時間に、再度、「いじめ」について考え話し合う機会を設けてきた。アンケートをとるだけでなく、いじめのサインや児童の情報を見逃さず、小さな変化にも気を配る態勢で臨んだことが、成果に結びついている。

また、今年度は、今までの実践に加え、新たに、Q-Uテストによるより客観的な学級集団の把握とグループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの手法を取り入れた人間関係づくりに取り組むことで、さらにいじめ根絶に努めていく。

4 実践に関する資料 (いじめアンケート用紙)

No. 1

楽しく生活するためのアンケート	
年 組 名まえ _____	
1 あなたが「いじめ」と思うものに○をつけましょう。	
①	友だちの悪口を言う
②	友だちにあだ名をつけたり、からかったりする。
③	友だちのうわさ話をほかの人に言いふらす。
④	友だちのいやがることを言ったり、やったりする。
⑤	友だちの発表や行動をわらったり、やじったりする。
⑥	友だちが失敗したときに、文句を言う。
⑦	友だちのものをかくす。
⑧	友だちのものにらくがきしたり、よごしたり、こわしたりする。
⑨	自分がやらなければならないことを友だちにやらせる。
⑩	友だちのものを取り上げたり、無理やり借りたりする。
⑪	友だちをたたいたり、なぐったり、けったりする。
⑫	友だちを無視したり、仲間はずれにしたりする。
⑬	友だちがいじめられているのを見て見ぬふりをする。
⑭	①～⑬以外で、「いじめだ」と思うことがあれば、書いてください。
⑮	どういうことに気がつけば、「いじめはなくなる」と思いますか。

No. 2

2 4月から今日までのことについて、答えてください。	
・ 友だちがされているのを見たり、聞いたりしたことがある……○	
・ 自分がされて、いやな思いをしたことがある……△	
・ 自分がしたことがある……×	
・ 見たり聞いたり、したりされたりしたことはない……記号なし	
※ いくつかあてはまるものがあるときは、その記号をぜんぶ書いてください。	
①	友だちの悪口を言う
②	友だちにあだ名をつけたり、からかったりする。
③	友だちのうわさ話をほかの人に言いふらす。
④	友だちのいやがることを言ったり、やったりする。
⑤	友だちの発表や行動をわらったり、やじったりする。
⑥	友だちが失敗したときに、文句を言う。
⑦	友だちのものをかくす。
⑧	友だちのものにらくがきしたり、よごしたり、こわしたりする。
⑨	自分がやらなければならないことを友だちにやらせる。
⑩	友だちのものを取り上げたり、無理やり借りたりする。
⑪	友だちをたたいたり、なぐったり、けったりする。
⑫	友だちを無視したり、仲間はずれにしたりする。
⑬	友だちがいじめられているのを見て見ぬふりをする。
3 今、こまっていることがあれば、下に書いてください。	